

令和 4年度

事務事業評価表（令和 3年度 の実績評価）

記入年月日  
令和 4 年 4 月 1 日

事務事業名	筑波ブロック広域観光連絡協議会参画事業					事業区分	新規/継続 単独/補助		継続 単独	担当 事務事業No. 040302000572		
政策体系上の位置付け									所属課 050301 商工観光課			
政策体系	総合計画の施策名	0403 観光の振興							課長名		商工観光グループ	
	政策名	04 活力ある産業のまちづくり							担当者名			
	施策名	03 観光の振興										
	手段名	02 ②観光資源の充実と商品開発										
財務会計上の位置付け						事業期間						
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計 観光事業					単年度繰返し (昭和49年度~)
法令根拠	01	07	01	04	01	00						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)

手 段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)		②担当者が行う業務の内容・やり方・手順			
	観光開発の諸施策について、筑波地域の関係自治体が協力して開発意識の一体化を図る。 筑波ブロック広域観光連絡協議会：つくば市、土浦市、かすみがうら市、石岡市、桜川市の5市で構成。 事務局を2年ずつの輪番性で各市担当。		・会議への参加 ・共同事業の実施 ①観光PR用ノベルティの作成 ・観光PR事業の実施(キャンペーン)			

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・協議会への参画	会議への参加	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・共同事業の実施 ①観光PR用ノベルティの作製 ②観光マップ作成 ・観光PR事業の実施(キャンペーン)	共同事業の実施	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
	観光PR事業(キャンペーン)の実施	回	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
筑波山地域に訪れる登山者や観光レジャー客に満足してもらう。	パンフレット配布者数	人	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量(事業費)の推移

		02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
入 量	国庫支出金	0	0	0			
	県支出金	0	0	0			
	地方債	0	0	0			
	使用料・手数料	0	0	0			
	その他	0	0	0			
	一般財源	100	100	100			
事業費計(A)	千円	100	100	100			
	正規職員従事人数	人	1.00人	1.00人	1.00人		

03年度事業費 実績(千円)

04年度事業費 予算(千円)

事業費の内訳	03年度実績	04年度予算
合計	100	100

事務事業名	筑波ブロック広域観光連絡協議会参画事業	事務事業No.	40302000572	所属課	商工観光課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
昭和49年に筑波山周辺地域の連携強化による観光振興など目的とし、首都圏からの交流人口を誘引するために結成した。 つくばエクスプレス開業などにより、近年は筑波山登山客や観光レジャー客が増加している。 年2回ワンテーパーンは成果の向上が見られないため、桜川市では平成26年度から実施していない。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
広域連携し、誘客につなげてほしい。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

現 状 維 持		評 価 項 目	
現 状 維 持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	筑波山地域の周辺自治体が連携し、筑波山周辺に訪れる観光客や登山者に市の観光PRをする事業であり、市の政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	首都圏の観光客や筑波山登山客に筑波山地域の観光を広域的にPRする事業であり、桜川市のPRになっている為妥当である。
有 効 性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	この協議会の事業である自主事業や共同事業を利用し、更に市の観光資源のPRに努める。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	協議会事業のため、廃止、休止した場合には桜川市の観光振興として影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	具体的な手段、事務事業名 筑波山地域ジオパーク推進協議会地域とは事業目的は異なるが、空間市以外は同じ市が協議会の会員なのでジオパーク事業との連携を検討する。
効 率 性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	協議会事業のため、単独決定はできないが検討はしていく。
公 平 性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	筑波山地域周辺に訪れる観光客または首都圏に対し筑波山地域の観光をPRすることにより、桜川市の観光客誘致に繋がり、市の活性化を目的とした事業であるため公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	R3年度から、負担金については徴収しないことで、構成する5市の意見が一致している。 会議等が書面開催となっており、他加盟市との情報交換や市の観光PRの機会が減少した。																									
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果		コスト			削減	維持	増加	向上			○		維持				×	低下				×
成果		コスト																								
		削減	維持	増加																						
向上			○																							
維持				×																						
低下				×																						
協議会の内容については、各加盟市にて似通った協議会が多数あるとの意見があり、当協議会の存続について検討する必要がある。 今後の方向性については、意見交換会を開催し、解散することを踏まえながら協議していく。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>